

市長メッセージ <福岡コロナ警報の発動を受けて>

福岡県では、7月28日の新型コロナウイルス感染者が新たに405人確認されました。1日の感染者数が400人を超えるのは5月19日以来、約2カ月ぶりです。久留米市におきましても、28日の感染者が13人となり、6月2日以来の10人以上を確認するなど、増加傾向にあります。

また、第4波で猛威を振るったアルファ株の1.5倍程度の感染力と言われるデルタ株の陽性率は、福岡県においても急増しています。

まさに第5波と言える感染拡大の傾向を受けて、福岡県では、7月28日に福岡コロナ警報を発動し、県内全域に対して、29日からの不要不急の外出自粛とともに、8月1日から21時までの飲食店等への営業時間短縮等の要請を決定しました。

市民の皆さま、事業者の皆さまにおかれましては、この状況を踏まえ、感染拡大を抑え込むため、次の感染拡大防止の徹底をお願いいたします。

- 夏休みやお盆など、人の往来が増える時期を迎えるため、目的地の感染状況を確認し、感染拡大地域への不要不急の移動は自粛すること
- 人数にかかわらず、会食は2時間以内とし、感染対策が徹底されていない会食は控えること
- 職場内においては、換気やマスク着用の徹底といった基本的な感染防止対策に努めるとともに、テレワークの推進や夏休みの取得などによる出勤抑制に取り組むこと
- 30代以下の若年層の感染割合が依然高く、入院に至る例も急増しているため、慎重かつ責任ある行動をすること

また、福岡県では、ワクチン接種が進んでいる高齢者の感染割合は、これまで20%程度の推移から、令和3年7月には約6%と減少し、その有効性が示されています。このことから、現在、感染割合が高い30代以下の若年層の方のできるだけ早期のワクチン接種へのご協力もお願いいたします。

まん延防止等重点措置の解除から2週間しか経過しておらず、皆さまに再びお願いをするのは非常に心苦しい限りではありますが、コロナに打ち勝つためには、皆さまの心がけとワクチン接種が最も肝要です。何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年7月29日

久留米市長 大久保 勉